

京都工芸繊維大学基金へのご寄附について

国立大学法人京都工芸繊維大学は、百二十有余年前、京都高等工藝学校及び京都蚕業講習所に端を発し、永きにわたり発展を遂げてきました。この間、日本文化の源である京都の風土の中で培われた、〈知と美と技〉を探求する独自の学風を築きあげ、学問、芸術、文化、産業に貢献する幾多の人材を輩出してきました。

令和4年度からは、博士課程の一般入試入学者全員の授業料を3年間全額免除する本学独自の制度や、博士課程学生が安心して研究に打ち込めるよう生活費と研究費を支援するフェローシッププログラムを開始するなど、博士課程学生への経済支援制度を拡充しております。

教育研究の成果は、実感できるまでに時間がかかりますが、今後も、これからの10年、20年、50年、100年後の未来を見据えた人材育成を行っていく所存です。

教育研究を一層強く推進していくには、より柔軟で機動的な財政基盤の確立が不可欠です。本学は、京都工芸繊維大学基金を創設してこれに備えることとし、学内外に広くご厚志を募っております。

なにとぞ、本趣意をご理解いただき、引き続きご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

大学運営全般へのご寄附

人材育成、国際交流、キャンパス整備、広報活動など、大学運営に関するあらゆる活動に役立てます。

修学支援基金へのご寄附（個人からのご寄附の場合には、税額控除の対象となります。）

経済的理由により修学が困難な学生に対する修学支援を行います。

研究等支援基金へのご寄附（個人からのご寄附の場合には、税額控除の対象となります。）

学生やポストク等の若手研究者に対する研究支援を行います。

※寄附金に対する税制上の優遇措置について

個人からのご寄附は、寄附金控除（所得控除）の対象となります。また、個人からの「修学支援基金」または「研究等支援基金」へのご寄附は、所得控除に加え、税額控除を選択することが可能です。

- ・ 所得控除を選択した場合

$$\text{所得税額} = (\text{所得金額} - (\text{寄附金額} - 2 \text{ 千円})) \times \text{税率}$$

- ・ 税額控除を選択した場合（修学支援基金、研究等支援基金の場合のみ）

$$\text{所得税額} = (\text{所得金額} \times \text{税率}) - (\text{寄附金額} - 2 \text{ 千円}) \times 40\%$$



基金へのお申込ページ <https://kifu.fm/kit/form.php>

（クレジットカード、銀行振込、郵便振替、コンビニ決済、ネットバンキングでのご寄附が可能です。）

【お問合せ先】京都工芸繊維大学基金事務局（京都工芸繊維大学財務課財務企画係）

TEL: 075-724-7045 E-mail: kitkikin@jim.kit.ac.jp

令和7年度は117名の個人・団体の皆様から総額23,710,383円のご寄附をいただきました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げますとともに、裏面にて昨年度実施した事業をご報告いたします。

基金により実施した主な事業（令和7年度）

1. 国際交流支援事業

海外短期語学研修支援

夏季及び春季休業期間に約5週間、英国リーズ大学及び豪州ヴィクトリア大学で語学研修を実施するための参加費の一部を支援し、参加学生の英語能力の向上と国際的視野の拡大を図りました。

2. 広報活動基金事業

美術工芸資料館カレンダー・ミュージアムグッズ作成

学内外との交流の促進に寄与するため、美術工芸資料館所蔵資料によるカレンダーを作成し、入試広報や就職支援に用いるとともに、同窓会や地域との交流活動に活用しました。また、クリアファイルやサコッシュ等の美術工芸資料館ミュージアムグッズを制作し、ご寄附いただいた方にも贈呈いたしました。

3. 指定基金事業

KIT同窓会・KIT若手研究者支援プロジェクト

同窓会からのご寄附により、挑戦的で独創性に富んだ発想の研究を行う若手研究者に支援を行いました。令和7年度は、機械工学系・山下 直輝 助教に対して100万円の研究費を支給しました。

研究テーマ：潤滑剤と材料表面間の動的相互作用の解明による摩擦低減機構の包括的理解

繊維アーカイブ作成プロジェクト

衣笠同窓会みらい基金からのご寄附により、本学内に所蔵されている蚕糸・繊維関係資料を調査し、詳細に把握できるようアーカイブの構築を行っています。令和6年度に引き続き、令和7年度は7月に第2回シンポジウム「結城紬と蚕業—無形文化財の保存・活用と展望」を、令和8年2月に第3回シンポジウム「近代京都の蚕業と染織」を開催しました。また、令和8年1月から3月に美術工芸資料館で開催した展覧会「近代京都の蚕業と染織展」では、1,283名の来場者がありました。

海外留学及び若手研究者支援事業

衣笠同窓会みらい基金からのご寄附により、学生の海外派遣奨学金や、学術論文投稿支援事業等の既存事業へ当基金から支援を行っています。令和7年度はそれぞれの事業に計300万円を支給しました。

吉永滝雄指定基金事業

意匠工芸学科卒業生（S47卒）からのご寄附により、デザイン科学域 デザイン分野の学生の研究プロジェクトの支援等を行っています。令和7年度は1,000,000円を追加でご寄附いただき、イカロス基金と銘打ち、大阪・関西万博2025の関西パビリオン京都府ブースにて認知症に関する映像制作プロジェクトや、学会での発表、研究室合同の展覧会の開催など、デザイン系学生の多様な活動の支援を行っています。

4. 修学支援基金事業

奨学金・留学支援事業

経済的理由により修学が困難な学生の留学や海外インターンシップを支援するために、奨学金を支給しました。令和7年度は、34名に対して一時金として5万円ずつ、7名に対して奨学金として計87万円を支給しました。

5. 研究等支援基金事業

国際研究集会等派遣支援事業

外国で開催される学術的な国際研究集会において研究発表を行う大学院生に対して、渡航費支援金を支給することにより、若手研究者の育成を推進しています。令和7年度は、6名に対して一時金として5万円ずつ支給しました。